

同窓さふさ

第53号

2019年12月発行
(令和元年12月)

千葉県立匝瑳高等学校
同窓会事務局
〒289-2144 千葉県
匝瑳市八日市場イ1630
TEL. 0479-72-1541
FAX. 0479-73-6146
代表：鵜之沢 正吉

同窓会報年1回発行☆各家庭に1冊配布☆最新情報はHPへ

さまざまな職場で活躍 フレッシュ社会人

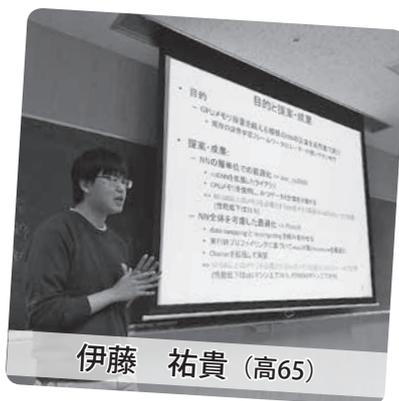
社会人として歩み始めた同窓会員の3人。
大学や大学院での学びをもとに、それぞれの
職種で仕事に励んでいます。

大学職員（人事部・給与厚生業務）

教育・研究・医療を先導する人材を支える「縁の下の力持ち」になりたいと考えます。これから社会へと進出する学生の進路支援はもちろん、学問を開拓する研究者でもある教授のサポート、さらには大学病院の経営企画など、職員としての業務は多岐にわたります。いずれも裏方の仕事が多く、一般社会との関わりは見えにくいかもしれませんが、あらゆる分野の未来を担う人々が集う職場において、その環境をより良いものとする中で、縁の下にしながら社会貢献できるこの仕事にとってもやりがいを感じています。



岩瀬 美乃里 (高67)



伊藤 祐貴 (高65)

エンジニア・ビッグデータの解析

近年の情報社会では「AI」が重要なキーワードとなってきています。しかし、現在のAIは映画などのフィクションで語られるような存在にはまだ程遠いです。AIに限りませんが、技術の発展というのは「ある日いきなり起きる」ということはなく、地道な研究の上に成り立つものです。私も一人の技術者として、そういった研究に携わり、今はまだフィクションの中の存在を実現させていきたいと考えています。

東京都職員・福祉に関わる仕事

大学では主にジェンダーやフェミニズムについて学び、約1年間イギリスのバーミンガムに留学しました。移民の多い土地柄で、多様な文化的背景を持つ人の中で自らも外国人として暮らした経験は得難いものでした。今後はこれまでの経験を活かし、社会的弱者、特に、困難を抱えている女性や外国人を支援する仕組みづくりに携わることで、多様な人々がそれぞれ尊重される社会の実現に少しでも貢献できたらと思っています。



木野 結 (高63)

同窓会の定例総会は、毎年6月の第4日曜日に開催しています。
※令和2年度は6月28日に開催します。



令和元年度

新会長に 鵜之沢 正

令和元年度 匠瑛高等学校同窓会 一般会計予算

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

収入の部 合計	5,370,000 円
支出の部 合計	5,370,000 円
差引残高	0 円

収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	2,633,236	4,971,527	▲2,338,291	前年度から繰り越し
会費	1,800,000	1,800,000	0	
入会金	852,000	930,000	▲78,000	全日制275名 定時制9名
繰入金	0	0	0	京葉銀行スーパー定期
寄付金	80,000	30,000	50,000	さふさ広告
雑収入	4,764	4,473	291	名簿売上、預金利息
収入の部計	5,370,000	7,736,000	▲2,366,000	

支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会議費	570,000	500,000	70,000	総務部・文化部・幹事会・支部総会
事務費	120,000	120,000	0	事務通信費・印刷費
旅費	60,000	60,000	0	会務旅費(学校/会長)
慶弔費	30,000	50,000	▲20,000	役員等
振込手数料	25,000	20,000	5,000	会費振込手数料
会報発行費	3,000,000	2,850,000	150,000	印刷費・発送費
補助費	1,000,000	1,000,000	0	母校教育活動への補助
HP管理費	166,752	166,752	0	ホームページの管理
予備費	398,248	469,248	▲71,000	
特別会計へ	0	2,500,000	▲2,500,000	
支出の部計	5,370,000	7,736,000	▲2,366,000	

特別会計

(単位：円)

			備考
前年度繰越	13,085,239	13,085,239	
支出の部		0	一般会計へ
収入の部	0		一般会計より
次年度繰越		13,085,239	

平成30年度 匠瑛高等学校同窓会 一般会計決算書

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

収入の部 合計	7,757,554 円
支出の部 合計	5,124,318 円
差引残高	2,633,236 円

収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	4,971,527	4,971,527	0	
会費収入	1,800,000	1,787,000	▲13,000	
入会金収入	930,000	918,000	▲12,000	全日制301名 定時制5名
繰入金	0	0	0	京葉銀行スーパー定期
寄付金収入	30,000	81,000	51,000	総会懇親会剰余金・さふさ52号広告掲載料
雑収入	4,473	27	▲4,446	利子
収入の部計	7,736,000	7,757,554	21,554	

支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	500,000	557,945	▲57,945	総務部会・文化部会・幹事会・支部
事務費	120,000	86,429	33,571	事務通信費・印刷費
旅費	60,000	59,500	500	会務旅費
慶弔費	50,000	0	50,000	
振込手数料	20,000	14,830	5,170	会費振込手数料
会報発行費	2,850,000	2,901,872	▲51,872	印刷費・発送費
補助費	1,000,000	1,336,990	▲336,990	母校教育活動への補助
HP管理費	166,752	166,752	0	
予備費	469,248	0	469,248	会議費・会報発行費・補助費の予算額からの不足分に対し、予備費より充当した
特別会計へ	2,500,000	0	2,500,000	
支出の部計	7,736,000	5,124,318	2,611,682	

特別会計

(単位：円)

科目	収入	支出	備考
一般会計へ	0	0	
定期預金受取利息	685		千葉銀行/京葉銀行
定期預金預け入れ		685	
合計	685	685	

財産目録

(▲印：減、単位：円)

		H30年3月31日	H31年3月31日	差額
一般会計	現金	94,975	385,111	290,136
	ゆうちょ銀行 当座預金	1,841,130	613,300	▲1,227,830
	ゆうちょ銀行 通常貯金	3,035,422	1,634,825	▲1,400,597
	一般会計合計	4,971,527	2,633,236	▲2,338,291
特別会計	千葉銀行 定期預金	3,032,013	3,032,270	257
	京葉銀行 スーパー定期	5,052,541	5,052,969	428
	京葉銀行 スーパー定期	0	0	0
	ゆうちょ銀行 定額貯金	5,000,000	5,000,000	0
	千葉興業銀行 スーパー定期	0	0	0
	特別会計合計	13,084,554	13,085,239	685
総資産	18,056,081	15,718,475	▲2,337,606	



平成30年度 事業報告

本部関係	事業内容	会場
30.6.24	定例総会 ※会長に佐藤正樹氏（高26）を選出 ※記念講演 大木健一氏（高26） 「東京一極集中から震災復興まで」	視聴覚室
30.7.25	第1回総務部会	西城館
30.11.26	第2回総務部会	西城館
31.2.2	新年幹事会	梅田家
31.3.8	全日制同窓会入会式 高71回	体育館
31.3.9	午前全日制卒業式	体育館
	夜定時制卒業式・同窓会入会式 定65回	食堂
31.4.9	午前全日制入学式	体育館
	夜定時制入学式	食堂
31.4.25	第3回総務部会	西城館
元.5.30	幹事会	西城館
元.6.22	母校文化祭（蔦陵祭） ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	食堂 ギャラリー
元.6.	ホームページ更新	

体育部	事業内容	会場
30.7.15	第1回体育部会	
30.9.27	第2回体育部会	
30.10.24	シニアゴルフ大会	山田ゴルフ倶楽部
30.10.28	第3回体育部会	
31.4.21	第4回体育部会	
元.5.27	親睦ゴルフ大会	ゴルフ倶楽部成田ハイツリー
元.6.1	体育部会引継式	

文化部	事業内容	会場
30.7.3	第1回文化部会	西城館
元.5.20	第2回文化部会	西城館

会報	事業内容	会場
30.8.28	第1回会報編集委員会	応接室
30.10.2	第2回会報編集委員会	応接室
30.11.6	第3回会報編集委員会	応接室
30.12.9	第4回会報編集委員会	応接室
31.1.18	さふさ52号発行	

令和元年度 事業計画

本部関係	事業内容	会場
元.6.23	定例総会 ※記念講演 越川和彦氏（高27）	食堂
元.7.29	第1回総務部会	西城館
元.12.10	第2回総務部会	西城館
2.2.1	新年幹事会	梅田家
2.3.6	全日制同窓会入会式 高72回	体育館
2.3.7	午前全日制卒業式	体育館
	夜定時制卒業式・同窓会入会式 定66回	食堂
2.4.7	午前全日制入学式	体育館
	夜定時制入学式	食堂
2.4.	第3回総務部会	西城館
2.5.	幹事会	西城館
2.6.27	母校文化祭（蔦陵祭） ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	ギャラリー
2.6.	ホームページ更新	

体育部	事業内容	会場
元.7.15	第1回体育部会	
元.8.30	第2回体育部会	
元.10.3	シニアゴルフ大会	PGM総成ゴルフクラブ
2.1.	第3回体育部会	
2.4.	第4回体育部会	
2.5.18	親睦ゴルフ大会	小見川東急ゴルフクラブ
2.5.	体育部会引継式	

文化部	事業内容	会場
元.7.4	第1回文化部会	西城館
2.5.	第2回文化部会	西城館

会報	事業内容	会場
元.8.28	第1回会報編集委員会	応接室
元.11.5	第2回会報編集委員会	応接室
元.11.15	第3回会報編集委員会	応接室
元.11.22	第4回会報編集委員会	応接室
元.12.	さふさ53号発行	

記念講演

日本の外交
～米中対立する世界で～

独立行政法人国際協力機構（JICA）副理事長
越川 和彦 氏（高27 理数科2）

総会終了後、独立行政法人国際協力機構副理事長の越川和彦さんによる記念講演が行われました。講演では、JICAの紹介や外交官時代の貴重な体験を交えながら、米中関係を中心に日本の外交問題について話され、多くの同窓会員が熱心に耳を傾けていました。講演内容を紹介します。

1 国際社会の大きな変化

最近の世界情勢を見ると、中国の急速な台頭、超大国化が進行し、アメリカではトランプ政権が誕生、ヨーロッパでは、イギリスがEU（欧州連合）から離脱を決めるなど、欧州統合の後退が見られるなど、国際社会は大きな変化を迎えています。

3 中国の超大国化

中国は、鄧小平時代の「韜光養晦（とうこうようかい）」（才能を隠して、いい時期の到来を待つという意味）、その後は、平和の台頭という言葉を使い、あくまで平和を求め、軍事の拡張や覇権は求めませんという

5 日中関係の現状

日中関係を見ると、尖閣諸島問題で国交正常化後最悪の状況になっていましたが、米中の対立を背景に、中国の二正面対立を回避する戦略的思考などから、安倍総理の訪中を機に表面的には正常化が図られまし

め、ほとんど機能していない状況です。戦後70年過ぎても、当時の戦勝国が安理理の中心的な役割を果たしているというところで、時代と現実と大きなずれが生じています。一方、日本国内では、個別自衛権と集団的自衛権の憲法第9条における解釈改憲が行われ、従来認められていなかった集団的自衛権について、特定の場合に限って行使できるといふように変わりました。

翻す形で、アメリカ・ファースト（一国主義）を掲げたトランプ大統領が誕生し、対中国観が大きく変化しました。オバマ政権までは、アメリカの利益に中国のマーケットを大きく関わっていたことなどから協調路線をとってききましたが、対中国貿易の大幅な赤字を背景に、競争の相手国として、貿易競争といわれるような対立関係になっていきます。当面はこの状況が続くと思われま

創立90周年教育助成事業

第5期 自平成30年4月1日 至平成31年3月31日事業決算

収入の部		支出の部	
第5期事業費	1,200,000	理数科振興費	299,840
奨学金の一部返金	30,000	文化的事業の助成	345,371
決算利息	81	大学進学者対象奨学金	200,000
		定時制生徒の教育支援	41,680
		教育助成事業会計へ繰入	343,190
合計	1,230,081		1,230,081

総額は1,200万円。120万円を年間の事業予算として、教育助成事業を行うものとし、全日制においては、進学指導重点校としての教育活動費用を援助する。
 ・定時制においては、厳しい教育環境下にいる生徒の教育活動の活性化を援助する。
 ・奨学金は、5万円(給付4万円・貸与1万円)

財産目録(教育助成事業)

	H30年3月31日	H31年3月31日
普通預金 銚子信金 八日市場支店	8,344,664	7,487,854
合計	8,344,664	7,487,854

創立90周年記念事業残余金

収入の部			
決算利息	46	次年度繰越	46
合計	46	合計	46

・90周年記念事業の残余金については、100周年記念事業の準備資金として同窓会が管理する。

財産目録(創立100周年記念事業準備金)

	H30年3月31日	H31年3月31日
普通預金 銚子信金 八日市場支店	4,659,257	4,659,303
合計	4,659,257	4,659,303

創立90周年記念教育助成事業第6期

収入の部		支出の部	
第5期からの繰越金	7,487,854	普通預金(銚子信金)	6,327,854
奨学金の一部返金	40,000	第6期事業	1,200,000
合計	7,527,854	合計	7,527,854

第6期(令和元年度)事業予算

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
第6期事業費	1,200,000	1,200,000	0	令和元年度教育助成事業費
合計	1,200,000	1,200,000	0	

支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
理数科振興費	380,000	380,000	0	理数科の課題研究補助
教育補助費	500,000	500,000	0	文化的事業の助成
奨学金	200,000	200,000	0	大学進学者対象奨学金
定時制振興費	120,000	120,000	0	定時制生徒の教育支援
合計	1,200,000	1,200,000	0	

創立90周年記念事業残余金

収入の部		備考	
前期繰越金	4,659,303		
決算利息	46		
合計	4,659,349	銚子信金	八日市場支店



2 国際社会、国家間の基本構造
 国際社会の基本構造は、一言でいえば、力(ちから)の世界、軍事力の世界です。国際法(条約)では、ある国が条約を破っても、処罰を与える実行機関はありません。このため、強い国がやりたい放題というのが現実です。国際連合は、第2次世界大戦の反省をもとに生まれた国際機関です。日本では、国連と略しますが、英語では、united nations、連合国ということになります。もともとは、戦勝国が作った機関で、未だに敵国条項が残っています。国連の決まりごとを破った国を国連安保理が認定して制裁を加えるということで、当初は国連軍も設置される予定でしたが、米ソの対立により実現できていません。PKO(国連平和維持活動)という組織がありますが、これは国連軍とは全く性格の違ったものです。大国(常任理事国)には拒否権があるた

4 米国の変貌
 アメリカでは、グローバルイズムに反旗を姿勢でした。ところが、習近平主席になつてから状況が大きく変わりました。中華民族の偉大な復興、中華の夢の実現を明言しました。中国は明、清の時代は超大国でした。これがアヘン戦争以降欧米の侵略による植民地化がなされた「屈辱の100年」を教訓に、かつての栄光を取り戻そうという考え方です。中国の経済力(GDP)は、2010年に日本を抜き、アメリカに次ぐ世界第2位の経済大国となり、近い将来アメリカをも凌ぐ勢いです。経済活動が活発になり、原油や工業製品等の輸出入が増加する中で、シーレーン(海上輸送路)の防衛が軍事上の主要課題になってきました。外洋艦隊の創設や空母、核搭載可能な原子力潜水艦の配備等海軍力の著しい強化が図られています。

6 今後の日本外交
 中国の超大国化、アメリカの相対的な国力が低下する中で、日本は、日米同盟を一層強化するとともに、太平洋・インド洋における周辺諸国との連携を強化することで、主張することは主張し、中国に正しいメッセージを送ることが重要になってくると思います。「外交において、永遠の同盟もなければ永遠の敵もない。あるのはただ一つ、常に自国の利益のみ」これは、元英国首相のパーマストンの言葉ですが、これが、国際社会における基本的な発想です。未来永劫、同盟は続くかという点、そうではない、やはり日本は、日本の利益、安全と繁栄を守るため、常にこういう事に耳を傾けながら外交に取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。

学校だより

～ 母校の“今”～

◆◆◆部活動・同好会の活動状況◆◆◆

令和元年度は、運動部13部、文化部16部、2同好会に9割近くの生徒が所属して活動しています。主な活動実績(4月～9月)をお知らせします。

- ◆ **運動部** ◆
 - 【柔 道】
 - 総合体育大会県予選
 - (男子・団体/個人)
 - 【剣 道】
 - 関東大会県予選(男子団体)
 - 【野 球】
 - 選手権大会2回戦 秋季県大会予選
 - 【弓 道】
 - 関東大会県予選
 - 女子・団体4位
 - 個人3位(荻谷若菜)
 - 男子・個人4位(藤田一輝)
 - 関東大会出場
 - (長谷川慶乃、行木彩乃、荻谷若菜、石橋奈津希)
 - 総合体育大会県予選
 - 女子・団体優勝
- 【バレーボール(男子)】
 - 総合体育大会県予選
- 【バレーボール(女子)】
 - 総合体育大会県予選
- 【硬式テニス】
 - 関東大会県予選(女子・団体)
 - 関東大会県予選兼総合体育大会県予選
 - (女子・複式)
- 【卓 球】
 - 総合体育大会県予選
 - (男子・団体)
 - (女子・団体ベスト32)
- 関東大会県予選
 - (男子・団体複式単式)
 - (男子・団体複式単式)
- 【陸上競技】
 - 総合体育大会県予選
 - ハンマー投げ6位 川口雄太



ハンマー投げ
川口雄太

- 【バドミントン】
 - 関東大会県予選(女子・団体)
 - 総合体育大会県予選(女子・単式)
 - 【バスケットボール(男子)】
 - 関東大会県予選(ベスト16)
 - 総合体育大会県予選(ベスト16)
 - 【バスケットボール(女子)】
 - 関東大会県予選(ベスト32)
 - 総合体育大会県予選
 - 【サッカー(男子)】
 - 総合体育大会二次トーナメント
 - (2回戦敗退)
 - 選手権大会一次トーナメント
 - (1回戦敗退)
- 【サッカー(女子)】
 - 選手権大会(予選リーグ敗退)
- 【山 岳】
 - 総合体育大会県予選8位入賞
 - 夏合宿準備山行(八ヶ岳1泊2日)
 - 夏合宿(北アルプス槍ヶ岳4泊5日)
- 【演 劇】
 - 第12地区大会春季発表会
 - 照明部門賞・優秀演技賞・審査員特別賞 受賞
 - 第12地区大会秋季発表会
 - 優秀演技賞・審査員特別賞 受賞
- 【音 楽】
 - 第74回千葉県合唱祭出場
- 【写 真】
 - 写真甲子園エントリー
 - 文化祭作品展示
- 【文 芸】
 - 文化祭で文芸誌『青嵐』発行
 - 【天文気象】
 - 第9回サイエンススクールフェスティバル出版
 - 文化祭・新人生歓迎行事でプラネタリウム上映
- 【生 物】
 - 文化祭に参加
- 【華 道】
 - 文化祭作品展示
- 【茶 道】
 - 新歓行事・文化祭で茶会
 - 同窓会総会にて呈茶

- 【将 棋】
 - 総合文化祭将棋大会出場
 - 第32回高校竜王戦出場



美術部 国際美術展作品

- 【美 術】
 - 第20回高校生国際美術展
 - 奨励賞・野間光・佐藤円・高橋未圭
 - 佳作・飯嶋杏佳
 - 加瀬明日風
 - ふれあいパーク八日市場看板壁画制作
 - 旭七夕市民祭り・あさひ砂の彫刻美術展2019 参加

令和に受け継ぐ匠瑳の伝統

校長 加瀬 健司



「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」との意味が込められている新元号『令和』が始まりました。令和の時代に匠瑳高

校生が心を寄せ合い、素晴らしい文化を育ててくれることを期待しています。

同窓生の皆様には、日頃より母校・匠瑳高校の教育活動に対しまして、物心両面にわたり、多大なるご支援・ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

母校匠瑳高校は、現在96年目、100周年も近づいて参りました。今年3月の卒業生をもって英語科が廃止となり、現在は各学年とも普通科6クラス、理数科1クラスの7クラス編成となっております。英語科は廃止となりましたが、普通科内に国際理解コースが設置され、韓国語や中国語の授業が選択で履修できるとともに、近隣のアジア諸国の文化等への理解を深められます。また、地域の英語教育拠点校として引き続き充実した英語教育を推進しており、グローバル人材の育成にも力を入れております。

千葉県教育委員会より進学指導重点校の指定を受けており、3年間を見据えた組織的で計画的な進学指導を展開しています。面倒見の良い匠瑳高校、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を引き続き行い、多様な生徒に対応した進学指導重点校を目指しています。

現在、88%の生徒が部活動に加入し、熱心に活動しています。この春は弓道部女子が県大会で団体優勝、宮崎県で開催された全国高校総体(インターハイ)に出場いたしました。また、陸上競技部はハンマー投げで関東大会に出場、計3名が県大会で入賞いたしました。山岳部も団体で県大会8位入賞を果たしました。その他の運動部もほとんどが県大会以上に出場しています。また、文化部では美術部が高校生国際美術展で4名が入選し、国立新美術館に作品が展示されました。その他の文化部も熱心に活発に活動しています。

生徒の皆さんは先輩方の伝統の気質を受け継いで、明るく素直でまじめ、礼儀正しく、活気に満ちた高校生活を送っています。勉強も部活動も学校行事もやり切って、満足して卒業していく名門校を目指しております。今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願いたします。

令和元年度 教職員名簿 (全日制・定時制)

教科	職名	氏名	卒回
全日制			
校長		加瀬 健司	高30
教頭		湯上 準一	
		志賀 達也	
		宮原 実	
		宮原 忍	高31
国語	教諭	平山 淳一	高32
		青澤 晴美	高32
		小高 清乃	
		佐藤 拓	
		津幡 尚子	
		佐藤 弘之	
		鈴木 哲也	
		田村 和昭	
社会	教諭	藤田 利孝	高62
		早川 直志	高27
		松本 典子	高30
		宇野 典男	高32
		伊藤 秀幸	高33
		木内 俊夫	
数学	教諭	野本 康徳	
		津嶋 俊介	高59
		大八 裕樹	高26
		古内 市孝	
		田邊 伸志	
		向後 輝彦	高35
		渡久山 朝一	高54
		角田 利幸	高57
理科	教諭	宮内 千尋	
		上山 優香	
		加藤 文孝	
		加瀬 聡	
		越川 恭伸	高40
		松本 剛史	高51
		金杉 尚樹	
		平山 尚樹	
保健体育	教諭	西倉 悠作	
		伊能 幸子	
音楽	教諭	吉井 幸和	
美術	教諭	藤崎 和蘭	高65

教科	職名	氏名	卒回
書道	教諭	鈴木 幸子	
英語	教諭	菅生 隆之	
		塚本 雅之	
		磯貝 真規	
		三浦 衛	
		渡邊 寿恵	
		根本 良明	高42
		矢部 敬子	
		門脇 舞子	
		上田 大樹	高67
		吉井 柳和	
講師		加藤 綾子	
家庭	教諭	加藤 綾子	
中国語	特別非常勤	姜 真星	
韓国語		金 典子	
定時制			
養護教諭		石井 昌子	
実習助手		宇井 紫由	
事務長		岡田 理恵	高41
主査		齋藤 香波	高65
主事		深井 春千	
日々雇用		小田木 任美	高57
嘱託技能員		渡邊 任美	
英語	ALT	ベンジャミン・アーデン	
S S W		飯野 弥生	
S C		来栖 郁代	
教頭		塚本 宏一	
国語	教諭	奈良崎 俊一	
		小原 耕一	高33
		小川 好子	
		石神 綾乃	
		宮本 穂和	
		星 博幸	
社会	教諭	卯月 博幸	
		六川 光俊	
養護	講師	坂本 智絵	
主査		戸成 善美	高43
家庭	非常勤	向後 友加里	高54
充て指導主事		高山 茂明	



弓道部 女子団体

男子・個人7位 (石田太陽)
 全国高校総合体育大会
 (長谷川慶乃、行木彩乃、石橋奈津希、鈴木遙加、菊谷若菜、近江佳代)
 関東個人戦選手権 鈴木大貴

3000m	7位	野宮寧々	関東大会出場
新人大会県予選			
ハンマー投げ	4位	川口雄太	関東大会出場
円盤投げ	4位	川口雄太	関東大会出場
砲丸投げ	4位	川口雄太	関東大会出場
3000m	3位	関根千晶	関東大会出場
やり投げ	6位	高野康太	関東大会出場
三段跳び	8位	西坂里衣那	関東大会出場
関東新人大会			
ハンマー投げ	6位	川口雄太	
【ソフトテニス】			
関東大会県予選			
(男子・団体個人) (女子・個人)			
総合体育大会県予選			
(男子・団体個人) (女子・団体個人)			

【吹奏楽】

◆ 文化部 ◆

千葉県吹奏楽コンクール高校B部門
銀賞

【書道】

第68回千葉県小中高校席書大会
千葉日報社賞

やり投げ
高野康太

3000m
関根千晶

平成30年度卒業生の進路状況

国公立大33名、私立大延べ506名合格

平成30年度卒業生は、それぞれの進路実現に向けて努力を重ねていましたが、首都圏の私立大学における定員管理厳格化の影響を受けて、全体的に厳しい結果となりました。

国公立では、千葉大(6)、電気通信大(1)、埼玉大(1)、茨城大(5)、宇都宮大(1)、千葉県保健医療大(2)、首都大東京(1)など、計33名が合格しました。

私立では、早稲田(1)、東京理科(2)、明治(3)、法政(3)、青山学院(1)、学習院(2)、中央(6)など、延べ506名の合格者を出しました。

卒業生の進路先一覧 (実人数)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
国公立大	30	19	46
私立大	179	186	204
短大	10	8	7
専門学校	41	43	31
公務員	6	8	8
民間就職	2	5	1
予備校等	33	35	25
総数	301	304	322

大学入試改革等で、進路指導を取り巻く状況は今後も混沌とした状態が続くことが予想されますが、生徒一人一人の進路実現を図るため、全職員一丸となって指導を行ってまいります。

(進路指導主事 角田利幸)



書道部 & JRC部 (耳の日まつり)

【JRC】
 救急法救急員資格取得
 ペットボトル回収
 地区メンバー協議会参加
 文化祭参加(展示)
 匝瑳市「耳の日まつり」参加
 (書道部と合同参加)

【ESS】
 交換留学生との交流及びZineのAL Tとの日々の会話を通して異文化理解
 英語ディベート大会への参加
 【ギター】
 東総地区連合音楽祭に参加
 校内ライブ(新入生歓迎・文化祭)
 【電子工芸】
 文化祭に参加
 校内行事で写真撮影
 文化祭のオープニング・エンディング
 映像の作成
 ◆ 同好会 ◆
 【SF同好会】
 文化祭での発表に向けて会誌やグッズ作成
 【ダンス同好会】
 新入生歓迎行事・文化祭でステージ発表

支部の話題

同窓会各支部では、各地区で特色のある活動を行っています。支部総会では、各支部からの依頼を受けて、同窓会長、校長、事務局長などが参加しています。

四街道支部

四街道支部同窓会

第21回総会開催について

7月14日(日) 11時30分から四街道市永華楼飯店において、四街道支部同窓会第21回総会が島田啓蔵氏(高15) 司会のもとで開催された。

最初に石田實氏(高2)が春の叙勲「瑞宝小綬章」を授与されたことの報告があった。永年公教育に従事し社会に多大な貢献をされたことが受賞授与されることとなった。この度の受章まことにめでとございます。

母校本部から鶴之沢正吉会長(高27)、母校から加瀬健司校長(高30)、宇野典男事務局長(高30)が出席、支部会員28名参加のもとに母校及び同窓会の近況報告があった。

「鶴之沢正吉会長」は、退職を前に前任校の匝瑳小の保護者と子供たちが訪ねてきてくれたこと、匝瑳中・高同窓生には団結力があること、常に前に出る

をいただきありがとうございます。したとお礼と活躍している旨の報告があった。

「宇野典男事務局長」は、四街道支部には5回目の出席。本校創立100周年の記念行事(令和6年秋)に向けて協力をお願いがあった。

総会では、工藤博孝議長のもとに、支部の活動報告並びに新年度事業計画の報告等が承認され、会長には工藤博孝氏(高11)が再任、副会長は空席、事務局長に金杉理氏(高17)、会計に小山健氏(高10)、監査に島田啓蔵氏(高15)が再任承認された。

総会終了後、「伊能忠敬の生い立ち」と題し、四代目桂右女助氏(高33回梅田勝之氏)の講演会が開催された。

桂右女助氏のプロフィールは、匝瑳高卒業後「旅行添乗員」となって全国を廻り、平成5



四代目桂右女助師匠の講演

(1993)年東洋文化と世間と人間を学ぶため「葬祭業」に転職、そして、平成12(2000)年八代目三升家小勝に入門。2015年真打昇進「四代目桂右女助」を襲名。その間、2013年千葉大学文学部史学科入学(在学中)、少年期の伊能忠敬を主人公にした「榎の家」で千葉文学賞受賞、耳が聞こえない娘と絵師の交流を描いた「初音の日」で、ちよだ文学賞を受賞した。現在千葉テレビ・成田ラジオにコメンテーターとして活躍している。

続いて島田啓蔵氏(高15)の司会のもとに、懇親会が行われ、それぞれ出席者全員の近況報告などに話も弾み、楽しい思い出話に花が咲いた。最後に石田實氏(高2)は、腹の底から大きな声が出せるのは健康の秘訣と、詩吟と民謡を披露され懇親会も皆さんとともに、和やかなうちに終了した。

工藤 博孝(高11)

京葉支部

京葉支部総会は5月18日(土)千葉京成ホテルミラマールにて、高5回から高44回までの66名が参加し盛大に開催された。まず石井稔会長(高18)の挨拶に続き、ご来賓の母校の加瀬健司校長(高30)、佐藤正樹同窓

(会長(高26)からご挨拶をいただいた。その後議事に移り、平成30年度事業報告と会計収支報告、今年度の事業計画と予算案件等が審議され、全ての議案が全会一致で了承された。なお、新年度の役員は、会長に石井稔氏(高18)、幹事長に山崎文彦氏(高25)、事務局長に小関正吉氏(高23)、会計に山崎静江氏(高22)、事務局に高井邦雄氏(高22)、渡辺敏明氏(高25)を選出。

講演会は、落語家として活躍の桂右女助氏(高33)から、「伊能忠敬の足跡をたどる」という演題で講演していただいた。リズムカルな口調で、伊能忠敬の人間像を歴史的な視点から、地域性の視点からくわしくお話しになり、参加者を魅了。言葉に力があり、すばらしい講演となりました。

懇親会においては、宇野裕千葉県議会議員(高28)、佐藤正己前県議会議員(高11)、布施貴良前千葉市議会議員(高18)にご挨拶をいただき、古希を迎えた大久保隆章氏(高20)に花束贈呈が行われた。最後に恒例となっている匝瑳中学、匝瑳高校の校歌を合唱し、散会となった。

総会以外の活動としては、京葉支部ゴルフ大会が9月25日(水)久能カントリークラブで行われ、95名の多数の参加者が爽

快な秋空の下で腕を競った。優勝は日下英義氏(高12)、準優勝は岩岡久雄氏(高21)であった。なおこのゴルフ大会にはたくさんの方々から賞品を提供していただき、大会を盛り上げた。

また、日帰りバス旅行は、11月23日(土)に実施予定。今回は、来年のオリンピックのサーフィンの会場となる釣ヶ崎海岸、酒造木戸泉、月の砂漠記念館、大多喜城を見学予定。

山崎 文彦(高25)



桂右女助氏(講師)

東会総会が84名の参加を得て、盛大に開催された。

森幸男副会長(高17)の司会進行で始まる。来賓の紹介に続き、宮崎晴可会長(高15)が講師講演の紹介、抽選会景品提供への御礼等を交え、開会の挨拶を行った。続いて佐藤正樹同窓会長(高26)から、田植えの始まった郷土多古の風景の紹介と共に、母校の発展に尽力している旨を述べられた。加瀬健司校長(高30)からはプロジェクトを使い、進路状況やクラブ活動を、

東会が植樹した桜が満開を迎えている様子などをビジュアルで紹介された。偏差値の伸びは、県内随一との報告もあった。

第1部総会に先立ち、物故者のご冥福を祈り、黙祷を捧げる。宮崎会長の議事進行のもと、活動報告並びに会則の改正、会計報告及び大友總一郎会計監事(高13)による監査報告が行われる。役員人事も併せ、満場一致で承認された。新会長に任命された須郷隆雄副会長(高17)より、「人格人望共に会長職には不適格であるが、誠心誠意頑張る」との就任挨拶がなされた。

第2部講演会は「私の経験した震災と対策の現状」と題し、JR東日本コンサルタンツ(株)技術統括・石橋忠良氏(高18)に講演を頂く。兵庫南部地震や阪神大震災、新潟県中越地震、東

日本大震災などに於ける鉄道災害とその対応を詳細に語られた。「正しい情報を早く、間違った情報は広がり易い」との警告は納得であった。

第3部懇親会は、前林和彦幹事(高26)と森副会長の進行のもと、92歳になる太田昭吉先輩(中17)が朗々と「君が代」を歌い上げ、豊饒たる乾杯の音頭で懇親の宴が始まる。



84名が参加した東会

中野幸子・大橋正子幹事(高8)森茂代顧問(高7)によるお楽しみ抽選会で一喜一憂した後、テーブルスピーチを頂く。

20名近くの18回卒を集めた鈴木勝彦元同窓会長や26回卒を代表した猿渡末治先生のスピーチ、初参加の林鋭夫さん(高17)の四国八十八か所を50日かけて回った話、伊藤郁幹事(高8)の60歳から始めた水彩画が都知事賞を受賞した話、鈴木正義会計監事(高7)の東会創設時の話も飛び出し、大いに盛り上がった。

最後に太田先輩を囲んで、匝中学校歌と匝高校歌を声高らかに合唱し、全員揃っての記念撮影を行う。須郷新会長の「また来年元気にここでお会いしましょう」との締めで、母校の益々の発展と同窓各位のご健勝を祈念し、抽選会の銘酒、銘茶、多古米、焼売、麵つゆを手土産に散会した。

須郷 隆雄(高17)

多古町匝高会

今年度の多古町匝高会の総会は、台風15号の被害が大きく、開催が危ぶまれましたが、9月27日予定通り開催できました。今年度の多古町匝高会の総会を開催するにあたり、約1ヶ月は

ど前に役員会を行い、伊藤会長が主導し参加者を集めるために、各自知り合いに声をかけ、また地元のゴルフ場で親睦ゴルフを行うなどの企画を考え、参加し易い雰囲気、環境をつくりました。狭い町ですので、同級生や知り合いなどに声をかけるのは簡単なことです。そのため今年の参加者は、ゴルフに15名、総会には、鶴之沢同窓会長、宇野事務局長のご出席をいただき総勢30名の参加で、盛会裏に終了することができました。

やはり、往復はがきや手紙で参加者を募るより、知り合いや同級生から声をかけられれば、行ってみようかなと思うものです。また、総会が始まれば、各自初対面の人でも同じ高校に通った者同士の懐かし話に花が咲くものです。

お互いに名前も知らない人がいたので、各々自己紹介をして、当時の先生の話や部活動の先輩が怖かったこと、学校の近くのお店のことなど、懐かしエピソードなど沢山出て来て、大変盛り上がった総会でした。

今年度、新しい会長に郡司会長が選出され、また役員も新しい会員が選出されましたので、今年度も大勢の匝高高校同窓生の出会いを広げていきたいですね。

飯田 正佳(高32)

旭匠会

8月24日(土) 昇月ビアスタ
ンドにおいて、旭匠会総会が行
われた。志賀教頭・宇野事務局
長にも出席いただき、活動報告
の後、今後の支部の活動の方向
性を探る意見が交わされた。特
に、喫緊の課題として、出席者
の減少への対応が挙げられた。
本部事務局より、他支部の活動
の様子などについて伺い、これ
からの旭匠会のあるべき姿につ
いての様々な考えが示された。



旭匠会 懇親会

総会後の懇親会では、高校時
代の思い出話・近況報告に時を
忘れて話し込んだ。

山口 宗男(高19)

飯匠会

飯匠会総会は、5月19日(日)
に「幸喜」にて開催されました。
参加者は12名、来賓として同窓
会本部会長の佐藤正樹氏並びに
同窓会事務局の宇野典男氏のご
出席をいただきました。平成30
年度の活動としては、入学生9
名及び卒業生9名に記念品を贈
呈し、葛陵祭PTAバザーへの
協力として会員39名から251
点のご提供をいただきました。

加瀬 正彦(高24)

干潟支部

干潟支部は、毎年8月第3週
に総会を開催しています。

今年度は同窓会総務部長、同
窓会事務局長にも参加いただ
き、総勢21名で総会を行いました。
総会では役員の改選などの
議事を行ったほか、現在の高校
の進学状況や部活動の活躍など
の説明をいただきました。参加
者は後輩たちの活躍を誇りに思



嘉儀屋で行われた干潟支部総会

い、当時は懐かしむとともに、
互いの近況などを語り合いまし
た。

伊知地 正樹(高44)

野栄支部

8月18日(日) 岩沢荘にて、
野栄支部総会が行われた。今年
は、鶴之沢会長・宇野事務局長
にも出席いただき、新たな顔も
ちらほらとあり、盛会であった。

また今年には役員改選の年で、
前会長の小川雅章氏(高23)を
はじめとする旧役員から役職を
引き継いだ。

総会後の懇親会は、個々の近
況報告で盛り上がり、とても楽
しい会となった。

大木 茂雄(高25)

支部事業

令和元年度 事業計画

支部関係	支部名	会場
元.7.13	匠匠会豊和支部	宇しろ
元.7.13	匠匠会匠瑳支部	内山屋
元.7.14	四街道支部	永華楼飯店
元.8.18	野栄支部	岩沢
元.8.24	干潟支部	嘉儀屋
元.8.24	旭匠会	昇月
元.9.21	匠匠会吉田支部	紫季
元.9.27	多古町匠高会	萬勢庵
2.4.	匠東会	アルカディア市ヶ谷
2.5.	京葉支部	ホテルミラマーレ
2.5.	飯匠会	幸喜
2.6.	匠匠会総会	
2.6.	横匠会	富士屋
	光支部	
	海上支部	
	銚匠会	
	匠匠会中央支部 (西城会)	
	匠匠会豊栄支部	

平成30年度 事業報告

支部関係	支部名	会場
30.7.8	匠匠会豊和支部	宇しろ
30.7.8	匠匠会匠瑳支部	内山屋
30.7.8	四街道支部	四街道文化センター
30.8.18	干潟支部	嘉儀屋
30.8.24	多古町匠高会	萬勢庵
30.8.25	旭匠会	昇月
30.8.26	野栄支部	岩沢
30.9.9	光支部	横芝光町町民会館
30.9.23	匠匠会吉田支部	紫季
31.2.23	匠匠会中央支部 (西城会)	吾妻庵
31.4.13	匠東会	アルカディア市ヶ谷
元.5.18	京葉支部	ホテルミラマーレ
元.5.19	飯匠会	幸喜
元.6.8	匠匠会総会	吾妻庵
元.6.15	横匠会	富士屋
	海上支部	
	銚匠会	
	匠匠会豊栄支部	

トピックス

台風15号の被害

匠高にも

9月9日未明に千葉県を直撃
した台風15号の強風によって、幹
廻り3mのヒマラヤスギが倒れ
るなどの被害があり、停電のため
4日間にわたり休校となった。





同期の話題



同期が集う同級生の話題が「同窓さふさ」に寄せられました。「同窓さふさ」では身近な同期の集まりや活動の情報をお待ちしています。

■ 匝瑳21・1同期会

匝瑳中学校21回(S23年3月卒)、匝瑳高校1回(S24年3月卒)の同期会を、令和元年5月26日(日)八日市場の「梅田家」を会場に開催した。27回目である。

新元号最初の月で「卒寿」でもある記念の会なので期待したが、歳には勝てないか参加者は昨年より3名減って12人であった。

この1年間に、石井宏幸さん、松山健さん、山本秀夫さん、安藤正さん、鈴木八郎さん、萩原勇美さん、松戸芳郎さんの7人が亡くなられた。

昨年まで26回の開催に、山本さんは22回、鈴木さんと萩原さんは17回も参加されている常連であったのに……。残念としか言いようがない。謹んで御冥福をお祈りします。

此れで生存者は57人となった。71年前の「千葉県立匝瑳中学校第二十一回卒業



高橋一男 角田利夫 石橋清 向後忠 椎名素夫 宮嶋弘平 片岡工 内田裕雄 土屋敬徳 大関正 林秀夫 宇井恵治

令和元年度 匝中21回・匝高1回卒業生 同期会
2019(令和元)年5月26日(日)
八日市場「梅田家」【計12名】

生一覽(昭和23年3月3日)に記載されている人数は百九十六人なので29%である。昭和一の90年よくぞ生き抜いてきたものである。「閑話休題」

午後3時10分の定刻に全員揃い、今回は梅田家の階段を難壇に見立てて記念撮影して見たら、男雛ではなく寿老人や布袋様!?ばかり……

経過報告のあと、物故者の冥福を祈って黙禱する。

闘病後4年ぶりに参加された宇井恵治さんの音頭で乾杯し宴にはいる。

一人一人の近況報告では、健康問題が多く、共感、補説、質問が相次ぎなかなか話が前に進

まないことも……また、難聴者も多くなり、同じことの繰り返しや大声が飛び交うことも……。それもこれも会えたからこそその話で、不自由な体に鞭打って、家族の助けを借りながら参加するのは、皆と逢いたい!喋りたい!!からなのではないだろうか!?

時間は瞬く間に過ぎて、午後5時になると迎えの車が次々と入ってくる。

じゃ、また、来年……!!とみんなまだ続けるつもりか再会を約して流れ解散となる。

次回は「卒寿」で「東京オリピック」だ。人生の節目と記念の年、何とか開催出来ることを願うばかりである。

第28回同期会の期日・会場は令和2年5月31日(日) 旭市ホテルサンモール6階の予定である。

生きていられることを願いながら今回の報告とする。 大関 正(高1)

● 掉尾を飾った 第54回匝五会 (昭和28年卒同期会)

先に匝五会の閉幕は85歳までと決定して早2年、今年令和元年10月17日最後の匝五会を迎えることとなった。第54回最後の開催は千葉幹事が担当、思えばよくもここまで途切れることな



講演する黒田健昭氏

く継続できたものと幹事の方々に対し感謝の念を禁じ得ない。第1回1966年(昭和41年)から第6回までは地元幹事によつて開催され、それ以降は地元・千葉・東京と3ブロックに分け輪番制で幹事役を務め今日に至ったもので、この方式が永年にも亘り毎年欠かすことなく開催できた所以と自負している。

今回最後の出席者は、28名内女性7名とまずまずの出席者数であった。会場は、千葉市中央区富士見「すし波奈」、1次会・2次会と2部制に分け時間も12時から16時までと、たっぷり4時間、お互い名残りを惜しむ会

となった。

先ずは恒例集合写真撮影。1次会は開会の言葉に始まり、今年物故された3名の方々に對する黙禱、続いて千葉幹事代表の挨拶、さらに会計報告の後、黒田健昭君(千葉大医学部卒・内科医)による「老いを迎えて」と題する約30分の講演を拝聴。

乾杯の音頭に始まる懇親会は楽しく、賑やかな時間は瞬く間に過ぎ、14時から引き続き2次会となった。テーブルには、ビール・日本酒に代わりコーヒールとデザートが並び、各自順番に近況報告となったが、近況を述べる人達からは、異口同音に延々と54回も開催された匝五会に對し、幹事への感謝と称賛の言葉が続いた。また近況を述べる会員諸兄は考え方もポジティブで、「まだまだこれから的人生100年時代を元気に生き延びるぞ。」といった闘志が漲っていて頼もしい限りであった。

たちまち閉宴の時間となり、冊子に掲載された歌詞を見ながら青春時代に戻って唱歌の合唱となった。「ふるさと」に始まり、「青い山脈」「誰か故郷を思わざる」「かあさんのうた」「旅の夜風」「蛍の光」と、まるで歌声喫茶の様相を呈し、最後に校歌斉唱で閉幕となった。

またの機会があったら再会を期して。

伊橋 宏(高5)

高28回(S51年3月卒) 同期会



高28回同期会

高28回の同窓会を、令和元年6月1日(土)旭市のヒューマンプラザ黄鶴を会場に開催しました。

当日は、担任としてご指導を頂いた、B組の金杉光明先生、D組の川内(飯島)恵美子先生をお招きしましたが、当時と変わらぬ若々しさが印象的でした。開会の前に、年輪を重ねた同期生が恩師を囲み、記念写真を撮影し、閉会時には懐かしく楽しい思い出とともに大切な一枚となりました。

高28回生は、次年度に於いて、会長を始めとした各役員として同窓会の運営を担うこととなります。今回の同期会では、その確認と協力を依頼し、役員選出についての承認を得ることができました。

還暦を過ぎたとはいえ、労働環境の変化で、まだ現役として活躍している者も多く、この日

に集うことの難しさもありました。しかし、今回参加した76名を始め、28回生はワンチームとして取り組む思いを持ち、次の会場に多くの参加者が足を運び、旧交を温めることができました。

南波 隆(高28)

高40回同期会

～同窓会にて思ふこと～

高40回卒業の同窓会の代表幹事を務めさせていただいた2名の林のうちの一人、バスケットキャプテンの林甲明です。

私たちの年代の同窓会は、30歳、40歳、そして今回50歳の開



高40回同期会 8月17日 三井ガーデンホテル(千葉市)

催と10年毎に開催しております。

昭和最後の年の卒業、令和元年の同窓会が50歳という半世紀での開催と、何かと区切りの年に縁のある年代なのかなとしみじみ思いに耽っております。

同窓会を開くにも信頼性が求められる今日のごころ、案内状に出来るだけ多くの名前を記載し、少しばかりではありませんが信頼性が高まり前回は上回る参加数をいただき開催することができ、更には2次会まで多数の参加をいただき、幹事としては大変満足いく、そして、個人的にも大変楽しい時間を過ごすことができました。

クラス幹事の方々、お骨折りをいただきありがとうございます。最後になります。恩師の方々、お忙しい中、千葉まで遠路お越しいただきまして誠にありがとうございました。

同じ年、同じ学校、同じクラス、同じ部活、偶然のめぐり合わせではありますが、この縁をこれからも大切に、また、10年後の同窓会、楽しみにしています。

林 甲明(高40)

師高第44回生

学年同窓会を初開催

平成元年桜咲く母校に入学した私たち匝瑳高校第44回生。入学から30年を記念し令和元年9

月15日、旭市の黄鶴を会場に卒業後初となる学年全体での同窓会を開催しました。

当日は、5名の恩師を迎え総勢百名の大宴会。

9月9日に襲来した台風15号の影響により開催が危ぶまれた中、旧友との27年ぶりの再会に受付直後から「久しぶりー！変わらないね!!元氣だった?」と大盛況。

集合写真を撮影し、「カンパイ!」。その後は、昨日まで学校にいたかのような会話。笑い声と笑顔あふれる賑やかな会場となりました。

また、「母校への恩返し」として、施設の充実や補修のために募金箱が設置され、1664、5022円の寄附が寄せられました。

中締めが終わるとクラスごとの写真撮影会、クラスメイトが集まって「はいチーズ」。

再会までのしばしの別れ、楽しいひと時はアツという間に過ぎました。

残念ながら今回の同窓会に出席が叶わなかった人の中には、台風の影響により被災された方も多く、この地域における被害の大きさを実感しました。そして、日常の何気ない生活が守られていることの重要性を改めて感じました。

被災された全ての皆様には心からお見舞いを申し上げます。

高橋 政雄(高44)

同窓会幹事(全日制:第71回/定時制:第65回)

平成30年度卒業し、同窓会幹事となった方々は次のとおりです。

クラス	氏名	クラス	氏名	クラス	氏名
A	林 日向子	D	家鍋 怜	G	大草 龍生
B	橋本 佑哉	E	木村 侑策	H	椎名 航平
C	橋本 竜太	F	渡邊 有紀	P	石原 魁



高44回同期会



集



*無線部OB会

第14回 匝高無線部OB会開催

令和元年10月10日(木)12時30分、旭のホテル・サンモールを会場に「第14回匝高無線部OB会」を開催する。36名に案内を出し、参加者は11名になる。参加の返信は15名だったが、当日も含め4名がキャンセルとなった。

昨年ドタキャンの林邦夫さん(高11)は京都から5回目、愛知県の小林茂俊さん(高8)は6年連続で、平山宗雄さん(高7)は横浜から10年連続11回目の参加、キャンセルの4名中2名も横浜と日野で遠くの日程故郷への思いが大きい様である。

79歳から89歳までの後期高齢者36名中、14回の会合に11名が10回以上出席(皆勤3名)で、全欠は6名という現況である。

匝高無線部は当時70名を超える部員を擁したが、名前だけの部員もあり、OB会は現会員による推薦で仲間入りして貰っている。元無線部員で希望があれば連絡頂きたい。減るばかりのOB会なので歓迎したい。話が逸れた。―閑話休題―



第14回匝高無線部OB会

菅谷稔さん(高10)の司会・進行で開会、幹事の経過報告を兼ねた挨拶のあと、大病の予後にも係わらず京都から駆けつけてくれた林邦夫さん(高11)の音頭で乾杯し宴会に入る。

寄る年波で?!遅れた2名が到着し記念写真の撮影、11名は一寸淋しいが大きく写る!!

会半ば、恒例の自己紹介と近況報告となる。当時の思い出話は毎年のことなので常連の話題は日常生活や健康管理など直近のものが多くなる。でも：原点はあの階段下の薄暗い部室での、青春の日々であることに疑いはない。18歳に戻る貴重な時間でもある。

開始から2時間、年齢的にもそろそろ限界!!来年は東京オリンピック、会も15回の区切りになるのだが、開会出来る約束はとも無理な話、せめてもの期待を持って午後3時解散。

大関 正(高1)

*体育部

同窓会シニアゴルフ大会実施

「第19回シニアゴルフ大会(55歳以上)」を、10月3日(木)にPGM総成ゴルフクラブを会場に開催しました。大会には、江畑魁さん(高2)をはじめ128名が参加し、気持ち良くプレーを楽しまれました。

また、例年賞品の協賛をいただいております。目下英義競技委員長(高12)、土川峰仙さん(高12)、林功さん(高19)から沢山提供していただきました。あらためまして御礼申し上げます。

また、例年お越ししいたいております。また、例年お越ししいたいております。また、例年お越ししいたいております。また、例年お越ししいたしております。

終わりに、令和2年5月18日(月)に小見川東急ゴルフクラブ

に於いて第24回親睦大会を開催いたしました。2月には各卒業年度幹事にご案内を差し上げますので、多くの卒業生の皆様の参加をお待ちしております。

「第19回シニアゴルフ大会成績」

◎ネットの部

- 優勝 土屋 信人(高29)
- 準優勝 萩原 則之(高26)
- 第3位 石田 健治(高21)

◎ベストグロスの部

- 東ノ南コース 神子 和夫(高28)
- 西ノ東コース 萩原 則之(高26)
- グランドシニア 関 守(高20)
- レディース 角田奈緒子(高27)

体育部長 宇野佐太夫(高27)

*文化部

新規部員を募集しています

同窓生の皆様は、どのような趣味に親しんでおられますか。写真・絵画・陶芸・書・茶華道など、特技や趣味の分野の活動を、文化部でもしてみませんか。毎年、同窓会総会(6月の第4日曜日に開催)では、『文化部の発表』も行われております。

文化部での活動を通し、様々な世代の同窓生の皆様との交流が図れますことを期待しております。(連絡先：同窓会事務局 ☎72・1541字野)

<p>国道126号 駅前交差点</p> <p>八日市場 駅前ホール</p> <p>匝瑳市八日市場イ113 Tel 0479-73-5321</p>	<p>野栄総合支所前通り東</p> <p>野栄ホール</p> <p>匝瑳市野手2235 Tel 0479-67-5353</p>
<p>株式会社 荒井</p> <p>http://www.ekimaehole.co.jp</p>	<p>高13回 荒井 淳一</p>

Since 1866

153rd



眠りの専門店 **わたしん**

肩コリ・腰痛でお悩みの方は

〒289-2516 千葉県旭市口の658番地
Tel 0479-62-0234 Fax 0479-63-9521

取締役会長 **片山 勲** 高13回



聖火ランナーとしての思い出

56年振りに開催される東京オリンピックが近づいてきました。前回、最終日の聖火ランナーとして、都内を走った匠瑛高校の生徒がいたことをご存知でしょうか。当時陸上部の2年生だった飯島浩さん（高18）です。思い出話などを伺いました。



Q 聖火ランナーに選ばれた時の心境は？

A 「何で私が？ 正直驚きました。インターハイ5000mで入賞した直後、品村先生からオリンピック組織委員会事務局からの決定を聞きました。先生は笑っていて理由は聞くことができませんでした。当日まで責務を全うすることだけを考えて体調管理に努めました。」

Q 走っているとき街の様子はどうでしたか

A 「区間中最長の1,450㍍、赤坂公民館前から神宮外苑前までを任されました。重さ1.3kgのトーチは重く、聖火ランナーの中で唯一、



私だけが左手に持ち替えることを許されました。いざ走り始めると、周りを見る余裕など全くなく、聞こえてくるのはトーチの燃える音、左手に持ち替えるようにとの指示だけでした。それでも、片側3車線の道路を今自分一人が走っているのだと思うと、感無量でした。」

Q 2度目の東京オリンピックに期待すること

A 「無事開催され、観る人すべてが感動できることを祈っています。今回の聖火ランナーに選ばれた方は楽しんで走っていただきたいと思います。」

Q 母校の後輩へのメッセージをお願いします

A 「匠瑛高校は、指導者・環境とも十分に整っている。勉学やスポーツに励み、匠瑛高校の名をもっと広めて下さい。応援しています。ファイト!!!」

君の関心も例年になく高く、目の輝きも違って感じられた。

このように、「材料工学」は未来の発明や技術革新をもたらす「材料」を研究・開発する分野です。皆さんも一緒に研究してみませんか？

「材料工学」という分野をご存知でしょうか？物理・化学・生物学などの基礎科学と、機械工学、電気・電子工学、航空宇宙工学などの応用工学を融合させた学際的な学問分野です。全てのものをつくる「材料」を研究・開発する学問です。

たとえば航空宇宙工学分野では、航空機やロケットを軽い機体にするのが、性能や燃費の向上に不可欠です。これを解決するのが「複合材料」と呼ばれる「材料」で、材料工学が活躍する分野のひとつです。最新の旅客機であるボーイング787やエアバスA350には複合材料がたくさん使われています。今や、ロケットや人工衛星も複合材料なしでは語るできません。

今年話題となったノーベル化学賞のリチウムイオン電池にも、材料工学が深くかかわっています。発明が成功したのは負極材として炭素材料を用いたことですが、これはまさに「材料工学」そのものです。



講師の向後保雄さん

雄さん。向後さんは、匠瑛高校(高30・理数科5回生)卒業後は、東京工業大学・東京大学に学びました。専門分野の「材料工学」について講演していただいた。以下に講演の一端を紹介する。

「材料工学」とはなんでしょう？

理数科講演会

11月28日(木)理数科生徒を対象とする講演会が行われた。

今年の講師は、東京理科大学教授(基礎工学科長)の向後保雄さん。

総合建設業

阿部建設株式会社

代表取締役 阿部典義 (高18回)

本社/〒289-2504 千葉県旭市二の528番地
TEL 0479(62)1221 FAX 0479(63)7171
関東支店/〒260-0002 千葉県千葉市中央区旭町24-8
TEL 043(225)3730 FAX 043(225)4850
住宅事業部/旭ミサホーム/〒289-2504 千葉県旭市二の2119-1
TEL 0479(63)7633 FAX 0479(63)7644
干潟リサイクル工場/〒289-0501 千葉県旭市清和乙662
TEL 0479(68)3420 FAX 0479(68)4756
URL: <http://www.abeken.co.jp>

地域の皆さまへ

健康と笑顔をお届けします

毎日薬局

本社：匠瑛市八日市場イ2411
<http://www.mainichi1954.com>

お悔やみ申し上げます

ご遺族もしくは関係者からご連絡をいただいた方です。
(令和元年10月31日受付まで)
会員の訃報について、事務局まで情報をお寄せください。

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 達村久彌(中5)
平成29年10月23日逝去 | 松戸芳郎(高1)
平成30年6月23日逝去 | 毛利(齊藤)貞夫(定昼1)
平成26年12月20日逝去 | 大野(布施)英子(高17)
平成26年10月15日逝去 |
| 布施尚志(中14)
平成30年7月17日逝去 | 藤崎久男(高2)
平成29年4月12日逝去 | 中嶋(高山)俊男(高7)
平成30年11月17日逝去 | 五木田(五木田)敦子(高18)
平成30年9月4日逝去 |
| 江畑耕作(中15)
平成30年5月5日逝去 | 鈴木惠次(高3)
平成30年7月15日逝去 | 鈴木高志(高8)
平成30年11月17日逝去 | 杉谷(関)初枝(高18)
平成27年6月24日逝去 |
| 石毛誠(中18)
平成29年3月29日逝去 | 鈴木利雄(高3)
平成30年11月8日逝去 | 山崎文雄(高8)
平成27年6月24日逝去 | 渡辺(佐藤)登比美(高21)
平成27年6月24日逝去 |
| 萩原(弘瀬)勇美(中21)
平成31年1月24日逝去 | 菅谷博(高4)
平成30年6月8日逝去 | 跡部洋平(高9)
令和元年5月3日逝去 | 菅谷佐和子(高22)
平成30年4月29日逝去 |
| 梅原一郎(併1)
令和元年9月25日逝去 | 土屋(石毛)ミツ(高5)
令和元年8月逝去 | 越川泰男(高9)
平成30年6月11日逝去 | 小川幸一(高28普)
平成27年7月逝去 |
| 飯島重雄(中22)
令和元年9月13日逝去 | 稲葉(片岡)健男(高5)
令和元年8月逝去 | 越川和夫(高14)
平成28年1月10日逝去 | 菅谷修一(高47普)
平成25年5月31日逝去 |
| 伊東喜男(中22)
平成30年4月10日逝去 | 伊藤(勝股)忠夫(高5)
平成31年2月逝去 | 鈴木和男(高15)
令和元年8月1日逝去 | |
| 加瀬(鈴木)康夫(高1)
令和元年9月6日逝去 | 越川浩一(高5)
平成31年2月逝去 | 山崎(江波戸)智弥子(高16)
平成30年7月26日逝去 | |



匝瑳高同窓会 検索

ご覧ください 同窓会ホームページ

～ 会員登録で広がる交流の輪～

匝瑳高校同窓会のホームページをご存知ですか？同窓会員の「集いの広場」として開設しているホームページは、会員同士の情報交換の場としてご利用できます。また、会員登録を行うと自ら情報を発信することも可能です。皆さんもホームページを活用し、インターネットでつながる同窓の輪を広げてみませんか。



★ おめでとうございます ★

- ◆長寿長老杖
土川 峰仙(高12)
- ◆瑞宝双光章
若梅 利雄(高17)
- ◆瑞宝単光章
高橋 保(高17)

※ 受章(賞)についての情報を事務局までお知らせください。



代表取締役社長 品質管理責任者 **鈴木 正一郎** (高29)
SUZUKI SHOICHIRO

SUZUKI STEEL STRUCTURE INC

鈴木鉄興株式会社

鋼構造物工事業(Hグレード)
一級建築設計事務所

1級建築士
WES (IHW-IWE) 国際資格
WES 特別級

〒289-2152 千葉県匝瑳市松山994-5
TEL 0479(72)1105 FAX 0479(72)1143
設計直通 TEL 0479(70)1208
E-mail suzuki@suzuki-str.com
携 帯 070-4064-0002
URL http://www.suzuki-str.com

各種ご宴席・同窓会承ります。

成田ビューホテル

〒286-0127 千葉県成田市小菅700
TEL:0476-32-1111

支配人 齊藤 浩文(高36回)



◆同窓会費とは◆

会費は1年間1,000円です。30年間分3万円が終身会費です。年会費納入者下欄の数値は、今回の納付年数となります。納入書はホームページからも入手できますので、ご協力をお願いします。

※平成30年10月1日～令和元年9月30日 受領分



終身会費納入者

戸村喜一郎	加瀬 高子	〔高19〕 広瀬 利枝	〔高18〕 郡司 信男	〔高18〕 金杉 昇	〔高17〕 郡 龍雄	〔高17〕 関 満	〔高16〕 林 啓司	〔高15〕 藤原 知子	〔高13〕 越川 孝昭	〔高11〕 鈴木 雅健	〔高6〕 椎名 洋子	〔高5〕 椎名 廣見	〔中18〕	
佐藤 裕美	林 みつ子	〔高28〕 安藤 昇	鈴木 由子	鈴木 宏	鈴木 房枝	〔高27〕 中川 賢一	〔高27〕 越川 雅美	〔高26〕 木川 覚	〔高24〕 米本 寿一	〔高22〕 岩井 和雄	伊藤 敏子	〔高21〕 齋藤 政勝	〔高21〕 我妻 芳枝	〔高20〕 宇井 照子
平山 恭則	武井 綾子	〔高44〕 戸井 幸代	〔高43〕 宮負 伸作	〔高42〕 丸谷 典子	〔高41〕 萩原 優	〔高39〕 加瀬 典子	〔高38〕 白戸 早苗	〔高34〕 佐藤千恵子	〔高32〕 高木 善英	〔高31〕 本原 伸子	〔高30〕 伊藤 里美	〔高30〕 越川 志延	飯嶋 知希	
足田 千皓	越川 将大	〔高65〕 井上 千波	〔高62〕 中西 広典	〔高61〕 中西 玉恵	〔高59〕 齋藤 仁朗	〔高59〕 高木 綾音	〔高57〕 林 恵利	〔高55〕 高畑 真弓	〔高53〕 石井 智子	〔高49〕 増田 尊正	〔高49〕 及川 聡	〔高48〕 飯嶋 知希		

年会費納入者

伊知地良洋 1	〔高20〕 吉村 成子 10	〔高19〕 高橋 満江 10	〔高19〕 林 優子 10	〔高18〕 新行内賢一 10	〔高18〕 齊藤 俊一 10	〔高18〕 太田 乾 10	〔高17〕 小倉千恵子 10	〔高17〕 木内 修 10	〔高17〕 大木 行男 1	〔高17〕 村越 正躬 3	〔高16〕 小松 徳子 1	〔高16〕 鈴木 久子 1	〔高15〕 桐谷 勝男 10	〔高15〕 渡邊 周作 1	〔高13〕 武田 凱夫 10	〔高11〕 千葉 勇 5	〔定夜4〕 鈴木 弘 5	〔高9〕 菅谷 良民 1	〔高9〕 大津 頼有 5	〔定昼2〕 大木 正義 1	〔高6〕	
〔高35〕 桜井 隆宏 1	〔高34〕 小柳 裕行 10	〔高34〕 堀越 礼子 10	〔定夜27〕 加瀬 仁 1	〔高33〕 深津 清美 10	〔高31〕 石川 順子 2	〔高31〕 押田 明裕 1	〔高29〕 小山田幸子 10	〔高29〕 高橋 雅行 2	〔高28〕 菅谷 英之 5	〔高28〕 加藤 敦子 5	〔高27〕 石井 澄子 7	〔高26〕 内田 健一 10	〔高26〕 鈴木 俊一 5	〔高23〕 渡辺 敏子 10	〔高21〕 新田 直子 1	〔高21〕 竹内 明子 5	〔高21〕 林 三千男 1	〔高21〕 龍田 誠人 10	〔高21〕 鎌形富久夫 3	〔高21〕 小倉つね子 5	〔高37〕 大木 泰枝 2	
〔高65〕 枝川 孝之 5	〔高64〕 齋藤紗和子 1	〔高63〕 北田 真規 2	〔高63〕 枝川 良祐 5	〔高61〕 大木 貴紀 3	〔高61〕 佐藤 美紀 1	〔高60〕 菅澤 昌史 1	〔高57〕 林 利勝 10	〔高52〕 龍田 憲晃 10	〔高52〕 鈴木 邦弘 5	〔高49〕 加藤 慎介 1	〔高49〕 田村ゆう子 3	〔高45〕 荒川 千佳 10	〔高42〕 伊藤 善治 10	〔高42〕 渡邊由美子 5	〔高40〕 渡邊 錦一 5	〔高40〕 龍田 進市 5						

《第53号編集委員》

太田 和利 (高27)	行木 利雄 (高28)	塚本 貢市 (高30)	高橋 康二 (高31)	武田 英樹 (高32)	小泉 泰孝 (高39)	鶴之沢正吉 (会 長 / 高27)	宇野 典男 (事務局 / 高30)
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------------	-------------------

※紙面の都合で、原稿すべてを掲載できません。ご了承ください。
 執筆にご協力いただいた皆様には紙面を借りてお礼申し上げます。
 この度の台風等で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。
 編集委員長 太田和利

編集後記

会報53号は、新たな体制で編集にのぞきました。会報を通して、母校や同窓会、さらには同窓生の状況をお伝えできるように努めました。今回は、各支部、同窓生の話題などのほかに、1964年の東京オリンピックで聖火ランナーを務められた飯島浩さん(高18)に当時の思い出などを語っていただきました。
 執筆にご協力いただいた皆様